

# 町内児童生徒は概ね良好

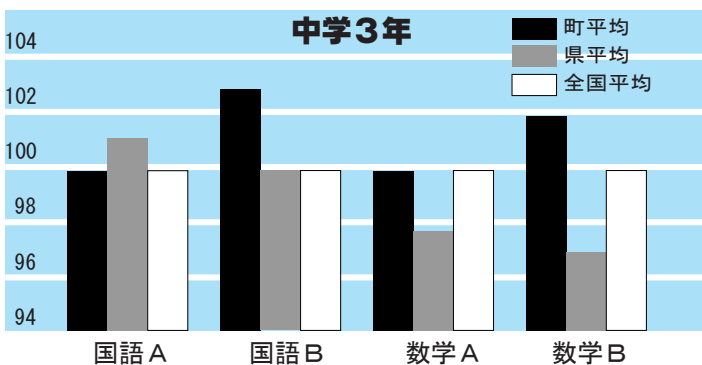
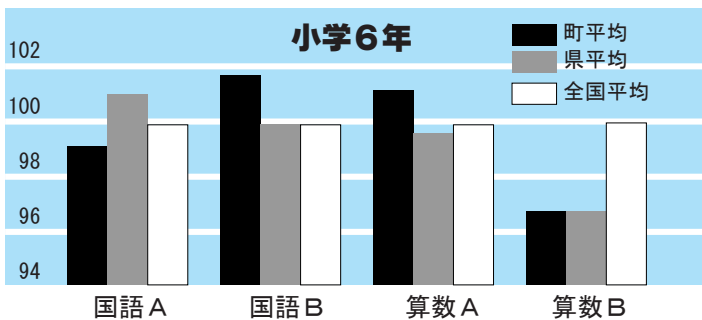
今年、4月24日に全国の小学6年生と中学3年生を対象として実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が発表されました。テレビニュースや新聞などで全国や各県の状況について報道され、聞きされた方も多いことでしょう。

今回は、私たちさつま町の児童生徒の状況についてお知らせします。

実施された調査は次のような内容です。

- 国語A、算数・数学A＝主として「知識」
  - ・身につけておかなければ後の学年などの学習内容に影響を及ぼす内容
  - ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能
- 国語B、算数・数学B＝主として「活用」
  - ・知識・技能などを実生活の様々な場面に活用する力
  - ・様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力

下のグラフは、全国の平均を100として、鹿児島県とさつま町の平均を比較したものです。



○小学6年生は国語Aと算数Bが少し全国を下回りましたが、国語B、算数Aは上回り「ほぼ全国と同レベル」ですね。

○中学3年生は全国を下回ったものはありませんが、大きく上回ってもいません。「少し全国よりも高いレベル」と言えますね。



この調査は、子どもたちの学力の一部を調べる調査でした。さつま町の学校は、よく頑張っていることが分かりますね。

特に、今回の調査では、B「活用」の問題が初めて取り入れられました。私たちのさつま町は、先生方が多くの研究授業の実践を通して早い時期から取り組み、全て鹿児島県の平均を上回りました。

また、心の教育や体力づくりなどにも積極的に取り組み、地域と一体となった子どもたちの健全育成に努めています。

次回は、学力と日常生活との関係についてもお知らせします。